

旧検見川無線送信所の利活用に関する  
ワークショップ等開催業務委託報告書

令和2年10月

千葉市

# 目次

1.	事前見学会	2
2.	普段の暮らしに関するアンケート	4
3.	ワークショップ	
	(1) 概要	5
	(2) イントロダクション	6
	(3) グループディスカッション	7
	(i) オンライングループ	9
	(ii) グループA	13
	(iii) グループB	17
	(iv) グループC	22
4.	まとめ	26

## 別添

1. アンケート用紙（普段の暮らしに関するアンケート）
2. アンケート用紙（実施後アンケート）
3. 資料：住民参加型プロセスの価値について（統括ファシリテーター 山崎満広）
4. 資料：地元の名産、飲食店など商業店舗の紹介（ファシリテーター 山村菜穂）

# 1. 事前見学会

9月27日のワークショップ開催に先駆け、事前に旧検見川無線送信所の見学会を9月12日（土）と13日（日）に行った。見学ルートは1Fエントランスから2Fへ上がり、庶務課事務室、第一発振室、屋上へ上がるルートとした。参加者（19名）に対して、文化財課職員から本施設の無線通信史上の価値や建築的な価値について解説を行った。



# 1. 事前見学会

新型コロナウイルス感染症対策として少人数にグループ分けをしたうえで、事前見学会を開催した。1グループ最大参加人数を5名まで、見学時間を1グループ20分程度に設定したうえで、参加者にはマスクの着用、入所前の検温及び手指のアルコール消毒を徹底して行った。



## 2. 普段の暮らしに関するアンケート

ワークショップ開催にあたり、日常生活上のニーズ等を把握することを目的として、参加予定者に対して事前にアンケートを送付し、普段から頻繁に利用する店舗や緊急事態宣言発出前後での生活の変化等をヒアリングした。アンケート調査により聴取した主なコメントは以下のとおりである。なお、アンケート回答の詳細は別添1を参照のこと。

### 【普段よく買い物に行くところ】

- ・ 検見川浜イオンスタイル
- ・ デポー真砂
- ・ 大型ショッピングモール  
(イオン、ららぽーと、島忠ホームズ等)
- ・ 西友
- ・ ダイソー
- ・ ヤオコー
- ・ ワイズマート

### 【普段よくいく飲食店、おすすめのお店】

- ・ スシロー
- ・ ガスト
- ・ 銚子丸
- ・ 蔵王
- ・ かぶと屋
- ・ プリミティヴオ
- ・ 長寿庵
- ・ 満足
- ・ ふじ竹
- ・ カフェノイエ
- ・ アニバーサリーデイズカフェ
- ・ 丸亀製麺
- ・ 王将
- ・ サイゼリア
- ・ マクドナルド
- ・ 初寿司
- ・ 河内屋
- ・ シタール
- ・ 凱旋門
- ・ キッチンポテト
- ・ 日高屋
- ・ ア・ピアチェーレ
- ・ 紅茶カフェDADA
- ・ 大丸水産
- ・ 椿森コムナ

### 【緊急事態宣言発出前後の生活の変化】

- ・ リモートワークが増えた
- ・ リモートワークが可能になり長時間の運動が可能になった
- ・ 買い物は特に変化はないが行く回数が減った。
- ・ 外食の回数が減り、応援のつもりで地元のお店からテイクアウトすることが増えた。
- ・ 遠出をしなくなった

### 【こんな場所が欲しい】

- ・ おしゃれな飲み屋
- ・ コワーキングスペース
- ・ Web会議できるスペース
- ・ コロナ対策が万全な広々とした公共施設やカフェ
- ・ 図書館
- ・ スポーツクラブ
- ・ 音楽演奏ができる集会ホール
- ・ 授乳室があるカフェ
- ・ 旅行気分を味わえる史跡
- ・ 自然豊かな複合施設



### 3. ワークショップ

#### (1) 概要

『旧検見川無線送信所の利活用に関するワークショップ』は2020年3月8日（日）に当該施設内での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により延期となり、9月27日（日）に検見川公民館で開催された。当日はオンラインを利用したグループを1つと実際に会場で話し合う3グループで以下のスケジュールでワークショップを実施した。なお、開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、全員マスク着用、手指アルコール消毒及び検温を徹底した。

#### 当日のタイムテーブル

13:30～13:40	開会のあいさつ
13:40～13:50	熊谷市長あいさつ（ビデオメッセージ）
13:50～14:05	地元の名産、飲食店など商業店舗の紹介
14:05～14:30	住民参加型プロセスの価値について
14:30～14:40	休憩
14:40～15:30	ワークショップ（1）
15:30～15:40	休憩
15:40～16:30	ワークショップ（2）
16:30～16:40	休憩 発表準備
16:40～17:20	各チーム発表、まとめ
17:20～17:30	閉会のあいさつ



### 3. ワークショップ (2) イントロダクション

開会のあいさつ後、熊谷俊人千葉市長が本ワークショップ参加者へのあいさつ、旧検見川無線送信所の建物の価値、ワークショップでの活発な議論への期待を述べた。

次に、本ワークショップ参加希望者を募集した千葉市花見川区及び旧検見川無線送信所が立地する検見川5丁目の人口傾向やまちの魅力等に関するプレゼンテーションが行われた。人口減少が全国的な傾向にある中で、検見川5丁目はわずかに増加傾向にあることや地域内の魅力的な飲食店等が紹介され、まちとしての発展の潜在的な可能性が紹介された。

続いて、統括ファシリテーターの山崎氏から魅力的なまちの特徴や住民参加型まちづくりの重要性等に関するプレゼンテーションが行われた。また、立地条件や収益性等現実的な制約条件は考慮せずに自由な発想で発言することや次世代を見据えながらワクワクしながら議論すること等、ワークショップでの意見交換を活性化するためのコツについて解説が行われた。

最後に、事務局から各グループのファシリテーター及びグラフィックレコーダーが紹介され、オンライングループを含めた全体でのイントロダクションを終了した。



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション

当日は10代から60代までの合計23名がグループディスカッションに参加し、使用する諸室の規模や参加者の年齢層などを踏まえ、参加者を以下の4グループに編成した。また、意見交換の円滑な進行、議論のとりまとめ及び記録を目的として、ファシリテーター、グラフィックレコーダー及びアシスタントをグループごとに配置した。

##### オンライングループ

参加者：9名

50代：3名（全て男性）

40代：2名（全て女性）

30代：3名（男性1名女性2名）

20代：1名（男性）

##### グループA

参加者：6名

60代以上：3名（全て男性）

50代：1名（女性）

30代：1名（女性）

10代：1名（男性）

##### グループB

参加者：4名

60代以上：2名

（男性1名、女性1名）

30代：1名（男性）

10代：1名（男性）

##### グループC

参加者：4名

60代：1名（男性）

50代：1名（男性）

40代：1名（女性）

10代：1名（男性）





### 3. ワークショップ

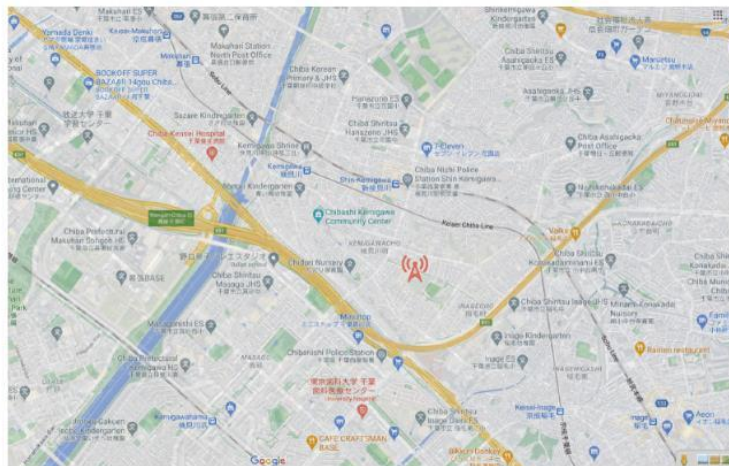
#### (3) グループディスカッション

各グループには議論を活性化させるため、以下のアイテムが配布された。

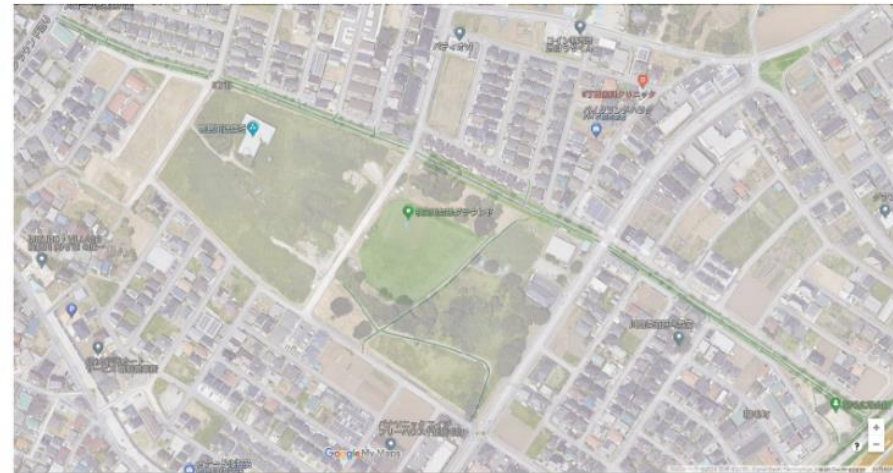
インスピレーションカード



#### 検見川無線送信所 周辺地図（広域）



#### 検見川無線送信所 周辺地図（狭域）



#### 検見川無線送信所 平面図



- 3. ワークショップ
  - (3) グループディスカッション
    - (i) オンライングループ



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (i) オンライングループ

議論の進め方として、自己紹介を行い、その中で住んでいる場所や「自分だけが知っている検見川のおすすめスポット」を1つ挙げてもらった。旧検見川無線送信所から徒歩圏内のメンバーが中心で、小さな子どもがいるメンバーが多い。オンラインかつグループの人数が他のグループの平均より多かったため、前半は主に自己紹介および参加者同士の交流を深めることに重きがおかれ、後半で、現状、そこから抽出した要望や悩み、それを踏まえて旧検見川無線送信所に求めるものについて議論が行われた。

##### 【検見川のおすすめスポット】

###### <飲食店>

- ・ もりぞう（居酒屋）
- ・ キッチンポテト（サンドウィッチ屋）
- ・ 蔵王（ピザ屋）
- ・ カフェ・テント
- ・ かぶとや（ラーメン屋）
- ・ カレー屋
- ・ 初寿司
- ・ 桂林餃子
- ・ 幸蔵

###### <食品店>

- ・ 櫻井麴店
- ・ いちかわ精肉店

###### <オープンスペース>

- ・ 検見川無線グラウンド
- ・ 旧検見川無線送信所間の遊歩道
- ・ 川沿いのサイクリングロード
- ・ ゲートボール場

###### <パブリックスペース>

- ・ 検見川神社
- ・ 梅の湯

##### 【現状】（何があって何が無い、何がほしい）

###### <悩み>

- ・ 使い勝手の良いスーパーが近くにない
  - 100円ショップがない→幕張にはたくさんある
  - ドラッグストアはたくさんある
- ・ 駅前の書店が閉店した

###### <要望（ほしいもの）>

- ・ 100円ショップ
- ・ 書店
- ・ 自転車の練習場
- ・ おいしいコーヒーが飲めるカフェ
- ・ 本が読めるカフェ、レストラン
- ・ 地域野菜が買える場所

⇒おしゃれな施設より、身近な施設が欲しい



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (i) オンライングループ

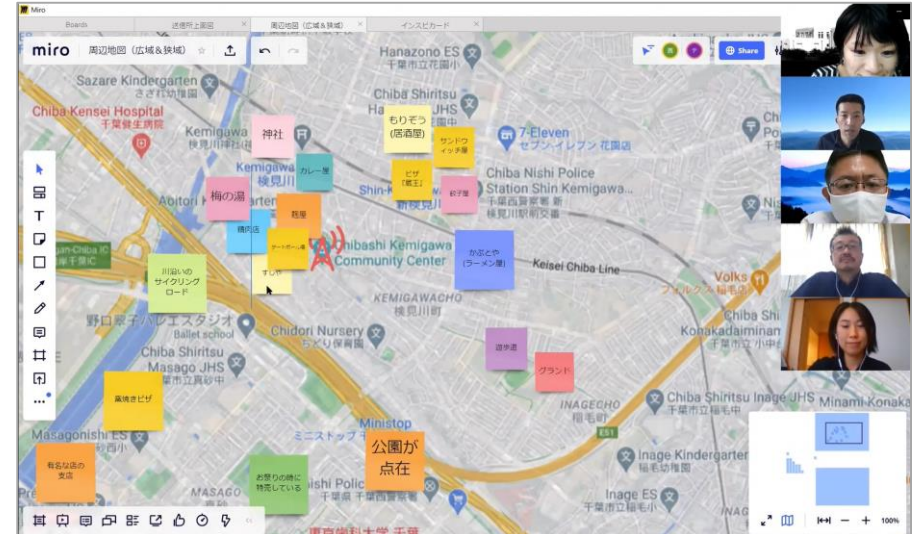
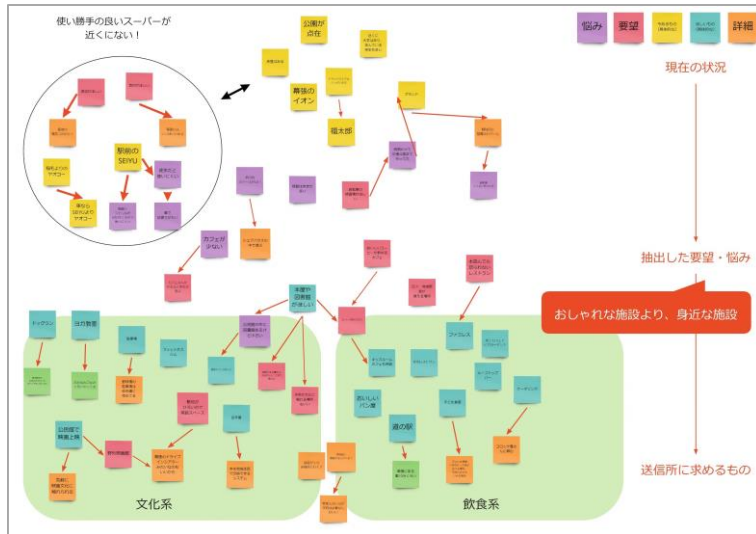
現状から抽出した要望や悩みを整理し、「おしゃれな施設より、身近な施設」が欲しいことがわかった。その上で、旧検見川無線送信所に求めるものを議論した。

##### 【具体的なもの（文化系）】

- ・ 本屋（最新の本が買え、子どもからシニアまで使える）
- ・ 図書館（検見川公民館内にあるが小さい）
- ・ 自習スペース
- ・ 古本屋
- ・ フィットネスジム
- ・ 駐車場
- ・ ヨガ教室
- ・ ドッグラン

##### 【具体的なもの（飲食系）】

- ・ ファミレス
- ・ 屋上カフェ、ビアガーデン
- ・ ルーフトップバー
- ・ 飲食持込可能なパブリックスペース
- ・ 子ども食堂（ご飯を準備できなかった時に子供だけでも行ける場所）
- ・ おいしいパン屋
- ・ 道の駅
- ・ キッズルーム併設のカフェ



### 3. ワークショップ

#### (4) グループディスカッション (i) オンライングループ

##### 【コンセプト】

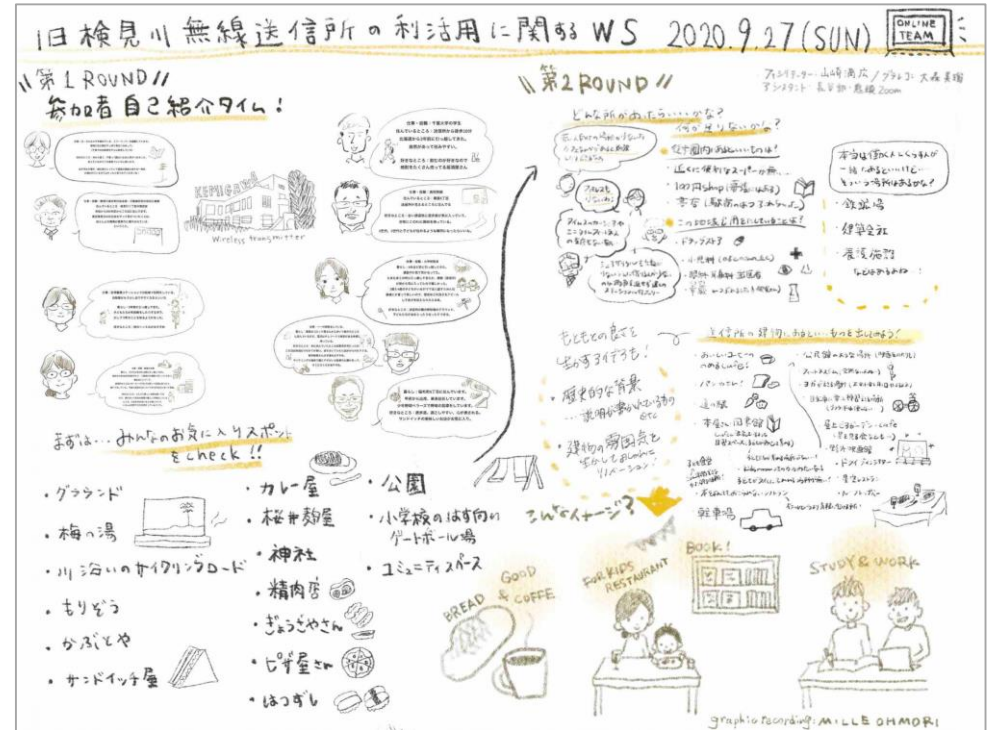
- ・ 建物を残して身近な施設を

##### 【議論の内容】

- ・ 「検見川のおすすめスポット」、「検見川にあるもの、悩み、欲しい物」、「旧検見川無線送信所の建物があるとよいもの」について議論した。

##### 【利活用に関する主な意見】

- ・ 建物はそのまま残したい
- ・ 元々の良さを活かせるように、歴史的な背景等の説明が書かれているものを展示
- ・ 建物の雰囲気を活かしておしゃれにリノベーション
- ・ 屋上を活かしたルーフトップバーやピアガーデン、カフェ、星を見る会、星空レストラン
- ・ 本屋や図書館等、子どもが集まれる場
- ・ ヨガ、フィットネス等、運動ができる場



3. ワークショップ  
(3) グループディスカッション  
(ii) グループA



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (ii) グループA

議論の進め方として、まず住んでいる場所やワークショップへの参加動機など自己紹介を行い、その後、新型コロナウイルス感染症による生活面での変化、検見川に足りないものについて議論した。また、参加者の居住地が旧検見川無線送信所から概ね500m以内であることが、グループAの特徴であった。

##### 【ワークショップへの参加動機】

- ・ 合理的な、先に残せるものを考えたい
- ・ 未来に役立つものにしたい
- ・ 送信所に暗いイメージを持っていたが、もっと明るく活用していきたい

##### 【検見川に足りないもの】

- ・ スーパーマーケットやドラッグストア
- ・ 飲食店がない
- ・ 三大ファストフードがない。
- ・ ぶらぶらしようとしてもなにもない
- ・ イオンに行けば一日遊べるので孫が来るとすぐイオンに行ってしまう
- ・ 日用品はあるが、ちょっとした買いたいものがない。買い物が一カ所で済まない。
- ・ お弁当屋さんがほしい、子供サイズのお弁当があればなおよし

##### 【新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化】

- ・ まちに人がいない、子どもがいない
- ・ マンションの管理組合は例年4~5月が1番忙しいが、今年度は会合を設けず委任状で済ます等、管理組合の運営にも変化がみられた
- ・ 保育所に子どもを預けられず、夫はリモートワークできなかつたので育児がワンオペだった
- ・ マンション内のコミュニティが強くなった。  
子どもたちは普段遊ぶ子ではなくマンション内で集まって遊んでいて楽しそうだった



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (ii) グループA

前項記載の議論を踏まえ、検見川町に欲しい施設や機能、参加者の家族に喜ばれるような施設・機能を付箋に書き出す作業を行った。そして、付箋を6つのカテゴリー（屋内・屋外・場所・公共施設・利便施設・ショップストリート）に分類した後に、付箋に記載された施設や機能を実際に旧検見川無線送信所に入れ込むイメージで議論を行った。

##### 【屋内】

- ・ 検見川や花見川の歴史を知ってもらう資料館
- ・ ペット譲渡会
- ・ 朗読会
- ・ 写真展（コンテストあり）
- ・ 芝居小屋
- ・ 音楽会

##### 【屋外】

- ・ 公園
- ・ スクリーントイレ
- ・ 体育館
- ・ 運動場
- ・ テニスコート
- ・ 水泳ができるじゃぶじゃぶ池
- ・ ゲートボール場
- ・ 花火大会（花火が楽しめる公園）
- ・ ビアホール
- ・ 遊園地（ブランコ等の簡易施設程度）
- ・ ログハウス、BBQゲストハウス
- ・ スイカ割大会
- ・ ドッグラン
- ・ 並木
- ・ 写真スポット
- ・ フォトブース
- ・ ミニゴルフ
- ・ ベンチ
- ・ 盆踊り（夏祭り）
- ・ ナイトシアター
- ・ レンタルの畑

##### 【場所】

- ・ フリースペース（PTA、子供が宿題する場所、うるさくしてもOK）
- ・ 大きなスタジオ
- ・ 集会所
- ・ スポーツセンター
- ・ 習い事スペース
- ・ 図書館

##### 【公共施設】

- ・ 駐車場・駐輪場
- ・ 行政の分所
- ・ 避難所
- ・ 公民館を移転
- ・ 医療施設
- ・ 炊事場
- ・ 保育園、幼稚園（園の広い施設）

##### 【利便施設】

- ・ キッズスペース
- ・ コンビニ
- ・ コワーキングスペース
- ・ DIYスペース
- ・ プラネタリウムホール
- ・ ワークショップ  
（母・子一緒にや、ママだけタイム、シニアタイム等）
- ・ 本が読める本屋
- ・ シルバーセンター（高齢者が働ける）
- ・ 子どもが遊べる場所
- ・ 高齢者が集まる場所
- ・ 子ども、高齢者双方が交流する場所

##### 【ショップストリート】

- ・ ショッピングセンター
- ・ 朝市
- ・ カフェ、コーヒーショップ、ファストフード店＝憩いの場
- ・ カフェ（キッチンカー）
- ・ スイーツ屋
- ・ 小さなレストラン
- ・ 不用品シェア、フリーマーケット、交換会
- ・ マルシェ
- ・ パン屋
- ・ レストラン
- ・ 手作り市





### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (ii) グループA

##### 【コンセプト】

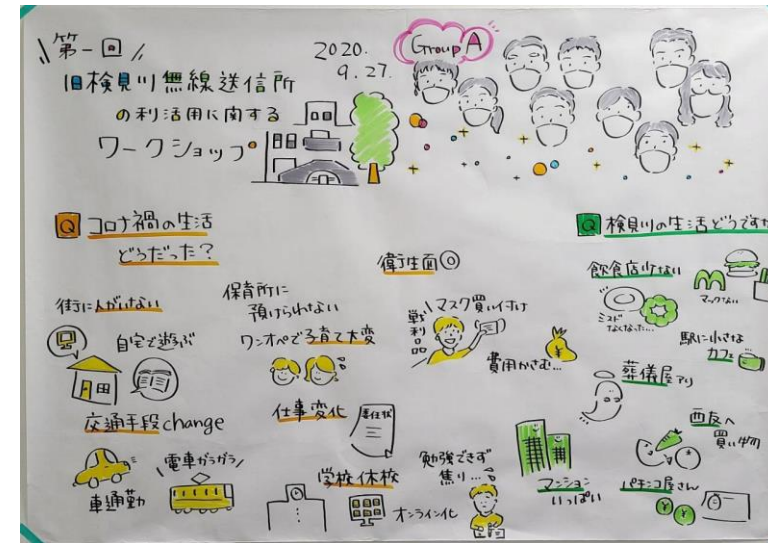
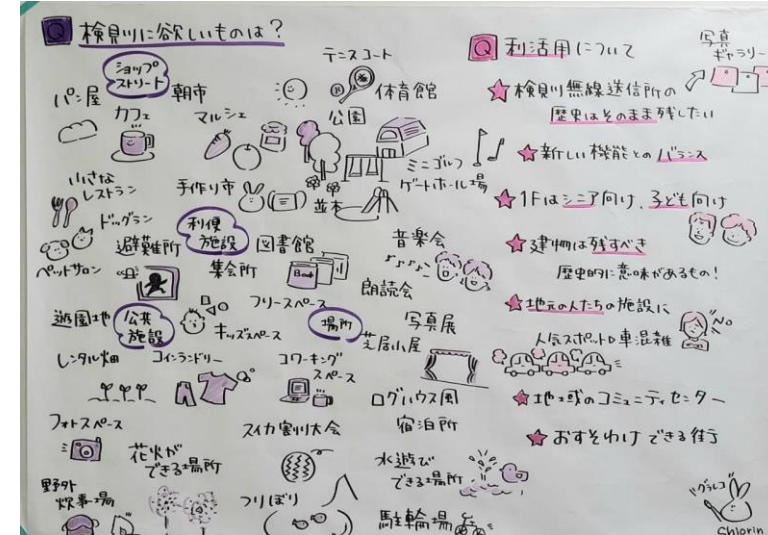
- ・ 建物を残して地元の人たちのための施設に

##### 【議論の内容】

- ・ 「コロナ禍の生活がどうだったか」、「検見川での生活」、「検見川に欲しいもの」、「利活用」について議論した。

##### 【利活用に関する主な意見】

- ・ 建物はそのまま残したい
- ・ アクセス性の観点から1階はシニア向けのフロア、2階は若者や子供向けのフロアとしてゾーン分けする
- ・ 送信所の歴史を伝える記録資料等を設置したギャラリースペースを施設内に設ける（設置場所は1階が望ましい）
- ・ 文化及び芸術活動を行うことのできる地域のコミュニティセンター
- ・ カフェやレストランなどの飲食店
- ・ 整備に際しては保存すべき送信所の歴史的な部分と新たに付加される機能とバランスが重要
- ・ 魅力的な施設にしたいものの、注目度や集客性が高くなることで渋滞や違法駐車など住環境に対する影響が懸念される



- 3. ワークショップ
  - (3) グループディスカッション
    - (iii) グループB



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (iii) グループB

議論の進め方として、広域地図を囲みながら自己紹介を行い、「検見川ってどんなまち？」という視点から、よく行く所（買い物、お散歩等）のヒアリングした。チームメンバー4名のうち、1名は検見川公民館周辺に在住、その他の3名はJR新検見川駅を挟んで反対側のエリアに在住であり、うち2名の居住地は地図範囲外であった。

##### 【よく買い物に行く所】

- ・ JR新検見川駅の西友
- ・ 西小中台のワイズマート
- ・ 検見川浜のイオン
- ・ さつきが丘のトップマート
- ・ 小中台南小学校の近くの野菜直売所
- ・ 武石ICの近くの野菜直売所（しょいかーご）

##### 【新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化】

- ・ 今年、町内会の行事（スポーツ大会、夏のお祭り等）は全て中止。地域によっては少しずつではあるが今年度の活動（会議や町内会費徴収等）を始めつつある。
- ・ 買い物の回数が減った人もいるが、生活圏は基本的に変化がない。

##### 【地域の遊び場（お散歩スポット等）】

- ・ グリーンベルト  
京成電鉄の線路に沿って緑地帯があり、空地のままだとごみが捨てられてしまうため、地元の婦人会が桜の木を植樹した。
- ・ 新検見川駅周辺のカフェ  
お友達とお茶をする時は、駅周辺のカフェを利用している。
- ・ レオぼっくる



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (iii) グループB

前項記載の議論を踏まえ、旧検見川無線送信所建物内及び敷地内に「あったらいいな」と思える施設や機能について議論を行った。

##### 【屋外のアイデア】

- ・ 屋上を使ったヨガ教室（青空ヨガ・星空ヨガ）
- ・ 昔UF0が出るという伝説があったことから屋上にUF0のオブジェを置く
- ・ フットサル、バスケットコート、スケボーパーク
- ・ ダンスが練習できるガラス面
- ・ 餅つき                      ・ 直売野菜マルシェ
- ・ 鉄塔（アンテナ）をモチーフにしたオブジェ
- ・ キャンドルナイト



##### 【屋内のアイデア】

- ・ 赤レンガ倉庫的な複合機能のある施設
- ・ 結婚式場及びブーケトス・スポット（エンタランスのアーチと階段が教会みたいなので）
- ・ カフェ（歴史がわかる内装やメニュー、ミュージアムカフェ的なもの。屋外にテントを張ってのカフェもいい）
- ・ ミニコンサート会場（建物壁に防音効果がありそうなので）
- ・ 知識交流などが可能なプログラミング教室（無線技術開発とのつながりから。また、送信所のオリジナルアプリがあると面白い）
- ・ カードゲームができる部屋



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (iii) グループB

##### 【課題や事例から考えるあったらいい機能】

- ・ 火やボールが使える公園（今は少ない）
- ・ 池。生き物やハスがある池（周辺の緑を残したい）
- ・ 避難所機能。屋内もありだが、周辺の空地部分にテントを張って避難所にする  
（今までの広域をカバーする避難所ではなく、これからは狭域で1つの避難所が必要。検見川公民館は、去年の台風の時、高齢者のみの受け入れだった）
- ・ クラフトマーケットや物々交換のフリーマーケット  
（花園自治会館等で物々交換のフリマが開催されている）
- ・ 図書館や本の交換ができるスペース  
（船橋フェイスビルで行われている）
- ・ 階段にすべり止めがあったほうがよい
- ・ 検見川のツアーが既にあるらしいが、町内会で歴史を感じさせるツアーを開催し、検見川公民館や旧検見川無線送信所もルートにしたい。
- ・ リモートワークができる coworking space



### 3. ワークショップ

#### (4) グループディスカッション (iii) グループB



##### 【コンセプト】

- ・無線で世界とつながる、今も昔もわたしたちの縁側

##### 【ゆるキャラ】

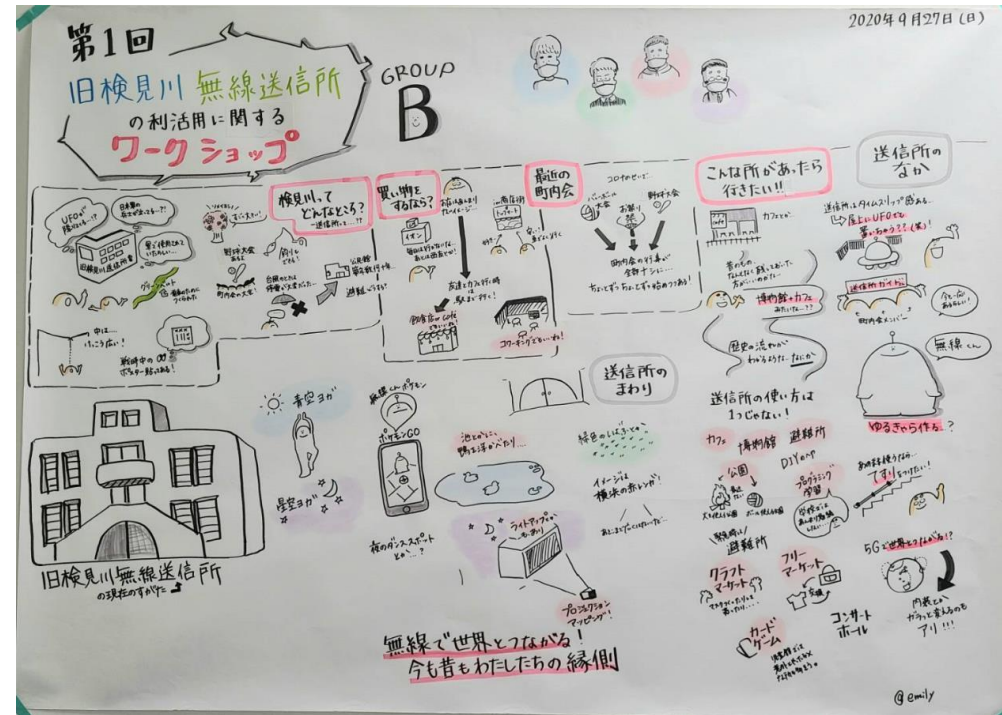
- ・無線くん

##### 【議論の内容】

- ・「検見川って、送信所ってどんなところ?」、「買い物をするならどこ?」、「こんな所があったら行きたい」について議論した。

##### 【利活用に関する主な意見】

- ・建物を残して利活用
- ・旧検見川無線送信所の歴史、まちの歴史がわかる何かを残したい  
→博物館+カフェ
- ・旧検見川無線送信所にまつわるアートオブジェを設置
- ・火やボールが使える公園が少ないので、ここを活かせないか
- ・リモートワークができるコワーキングスペース
- ・ワークショップができる場
- ・子どもが学べたり集えたりする場
- ・物々交換ができる場
- ・緑や自然の要素を残したい
- ・多くの人に来てもらうために、手すりや階段は要修復
- ・災害時に身近に使用できる場所



- 3. ワークショップ
  - (3) グループディスカッション
    - (iv) グループC



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (iv) グループC

議論の進め方として、広域地図を囲みながら自己紹介を行い、まちについて思うことや旧検見川無線送信所の利活用に関するアイデアを付箋に書き出した後、付箋を類似するアイデアごとに分類した。チームメンバー4名のうち、1名は旧検見川無線送信所近隣、2名は検見川公民館近隣および国道357号線近隣、1名は広域地図範囲外北部であった。

##### 【施設の利活用に関するアイデア】

###### <公園>

- ・犬の散歩ができるような緑地
- ・マーケット ・屋外で飲食できる場所
- ・ランニングステーション
- ・レンタサイクルを含めたサイクルステーション

###### <コミュニティスペース、文化イベントスペース>

- ・机や椅子がある
- ・コンサート（トリオ、カルテット）等ができる
- ・展示会スペース

###### <オープンスクール>

- ・子どもたちの学びの場



###### <商業施設>（まちとして収益をあげないと持続化しない）

- ・ドコモやNTTをスポンサーとした商業施設
- ・スーパー銭湯（スパ&コミュニティ&絆）
- ・本屋（建築や、通信等の書籍が集まる本屋）
- ・カフェやレストラン

###### <ミュージアム>

- ・歴史を紹介し、保存していく
- ・建築史、通信史

###### <教会>

- ・人が集まるコミュニティ施設として

###### <スタジオ>

- ・通信所という背景から、番組放送できるスタジオや中継拠点





### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (iv) グループC

その後、議論は旧検見川無線送信所の建物及び敷地の用途から、建物周辺エリアに関する要望や課題へと展開した。

##### 【周辺エリアへの要望】

- ・ 施設に車でアクセスできるよう周辺の道路を整備する。  
(ただし、車道にはスピードを抑制する工夫が必要)
- ・ 施設の周辺を花島公園のように様々なレクリエーションのできる公園として整備する。
- ・ スポーツ施設や病院などを近隣施設として建設し、周辺一体を魅力あるエリアとして育てる。

##### 【施設整備に伴う周辺エリアへの課題】

- ・ 周辺エリア外からの集客もターゲットとしたいが渋滞が心配
- ・ 近隣住民としては車の往来が多くなることは避けたい
- ・ 多くの人が来るようなエリアになると駐車場の確保が必要



### 3. ワークショップ

#### (3) グループディスカッション (iv) グループC

最後に、土地や建物の整備に要する期間などを勘案した場合、旧検見川無線送信所の利活用が実現するには一定の期間を要することから、前段での議論を踏まえた上で、今から10年後の本施設の理想像について議論を行った。

【コンセプト】 車を使ってエリア外から来てもらえるような場

【利活用に関する主な意見】

- ・ 建物を残して活用する

<レクリエーション的なモノ>

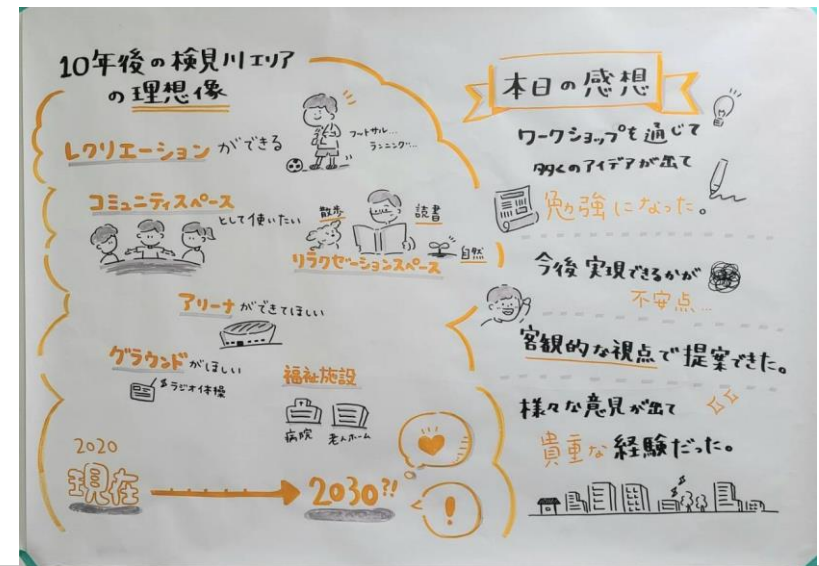
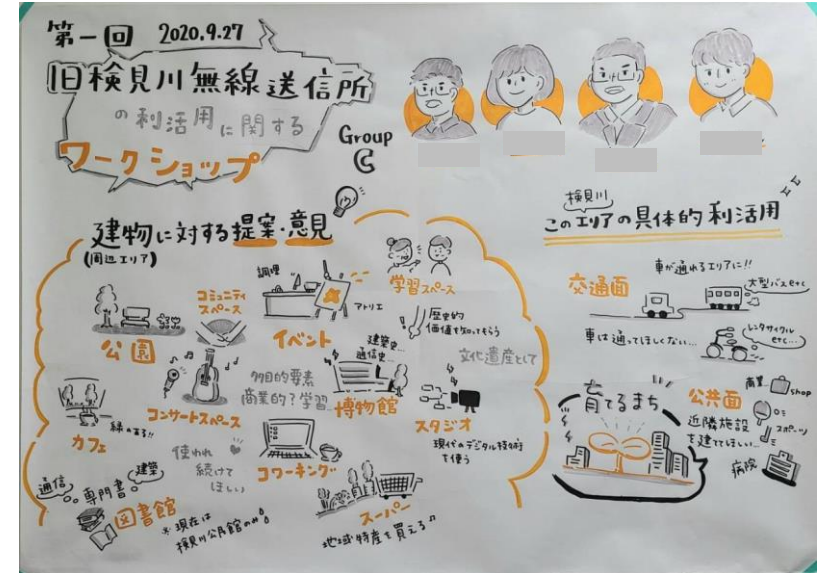
- ・ ウォーキングコース
- ・ レクリエーションホール
- ・ コミュニティーセンター機能
- ・ アリーナ
  - 通信所の施設が管理
  - 複数のスポーツができるような
- ・ ベンチや花のある散歩道
- ・ 詩を作ったり、読書をするスペース

<商業的なモノ>

- ・ スーパー銭湯

<福祉施設>

- ・ 病院や老人施設（コンパクトシティ）



## 4. まとめ

### グループ発表後の総括ファシリテーター山崎氏の総評

各グループでのワークショップ終了後、全体でのグループ発表を行い、最後に総括ファシリテーターの山崎氏より参加者からの意見等に関して総評していただいた。

- ・ 全体的に「検見川にはコミュニティが集まる場所が足りていない」という意見が多かった。
- ・ 今日の参加者は、近所に住んでいながらもまだ顔見知りではなさそう。旧検見川無線送信所が利活用され、みんなが使えるようになった際には、顔見知りがどんどん増えるようなハブとなるような場になるとよい。
- ・ 今日はそのスタートであり、横のつながりができたので、オンラインで参加された方々も公民館で参加された方々もこういった関係を少しずつ深めていって、今後のワークショップにもぜひ一緒してくださったら嬉しい。
- ・ みなさんの住んでいる地域内で、みなさん同士で仲良くコミュニケーションを取り始めると、生活の質があがるのではないかと。
- ・ 中学生からご高齢の方まで幅広い年齢層に渡り、みんなが1つの場所のために議論できたのはとても貴重。
- ・ 市には、旧検見川無線送信所だけでなく市内に様々な開発計画があると思うが、今回参加してくださった方々には、時間が取れる限りこうしたワークショップに参加していただき、市民が盛り上げるまちになっていっていただきたい。





旧検見川無線送信所の利活用に関する  
ワークショップ等開催業務委託報告書

令和2年10月発行

発行 千葉市教育委員会事務局  
生涯学習部文化財課  
千葉県千葉市中央区問屋町1番35号  
ポートサイドタワー11階

編集 株式会社拓匠開発  
千葉県千葉市中央区弁天2-20-20